

北極環境研究コンソーシアムの現状と今後
大畑哲夫(海洋研究開発機構)、榎本浩之(国立極地研究所)

Status of Japan Consortium for Arctic Environment Research (JCAR)

Tetsuo Ohata (JAMSTEC), Hiroyuki Enomoto (NIPR)

Arctic is a region on earth where the temperature rise is strong under the global warming, and is a region where strong influence to the environment due to these climate change is projected. Such change in the Arctic will affect the global climate through the changes in the atmosphere, ocean, cryosphere and ecosystem. Since Japan receives influence of these changes strongly as it is located in the northern hemisphere, more systematic and organized research activity is needed to clarify the mechanism and influence of climate variation in the Arctic Region and to predict the future more precisely.

In order to exhibit the comprehensive ability of the Arctic Environment Research in Japan, through stronger cooperation between researchers and Institutes in Japan, "Japan Consortium for Arctic Environment Research (JCAR)" was established by volunteer scientists on May 25, 2011. Presently 270 researchers are registered to JCAR

1. はじめに

北極は、地球温暖化による平均気温の上昇が最も大きく、地球上において気候変動による影響が最も顕著に現れると予測される地域の一つです。また、北極における変化は、大気・海洋循環の変化、や雪氷圏や生態系の変化などを通して、全球的な気候システムに大きな影響をもたらす可能性があります。地理的に北半球に位置し、気候・環境的にも北極域の影響を強く受けている我が国としては、北極における気候変動のメカニズムとその影響の解明、将来の変化の的確な予測、必要な対策の実行に向け、より組織的な北極環境研究を行う必要があります。

北極環境研究における我が国全体としての総合力を発揮するため、各研究機関において様々な研究活動に取り組んでいる北極環境研究者間の連携・協力を促進し、オールジャパン体制で北極環境研究の強化に取り組むネットワーク組織として、「北極環境研究コンソーシアム」を2011年5月25日に有志の呼びかけにより設立しました。9月末現在、270人余りの登録者があります。

2. 活動と運営

以下の活動を行う予定であります。

- (1) 北極環境研究に関する総合的な研究計画の検討、
- (2) 北極環境研究の推進に資する研究・観測基盤の整備方策等の検討、
- (3) 北極環境研究に関する国際協力の推進方策に関する検討、
- (4) 前各号に掲げる事項に関する関係機関への提言、
- (5) 会員等が実施する北極環境研究活動間の有機的な連携・協力の推進、
- (6) 北極環境研究に関する内外の関係機関、団体等との交流及び協力の推進、
- (7) 北極環境研究に関する広報、普及啓発、人材育成の推進、
- (8) 前各号に掲げるもののほか、コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動

組織は、運営委員会及び各種 WG、および事務局をもって構成。活動に必要な予算と事務局は「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス事業(北極気候変動分野)」から支出され、事務局を国立極地研究所におきます。運営委員会は平成23年度文科省内の北極研究検討作業委員会および北極研究検討委員会(自主的団体)の委員を中心に構成しています。本コンソーシアムに関する問い合わせは、consoprep@nipr.ac.jp。